

表2 進路に関する資料の活用例

資料の収集	整理	活用
診断テスト ①知能テスト ②クレペリンテスト ③性格行動テスト ④職業適性テスト ⑤レディネステスト	進路相談カード(教師用) ○生活指導用の環境調査簿といっしょにファイルしておき、とりはずしができるようにしておく ○HRT保管 ○カード形式 ○3年間使用	○面接指導の資料 ○指導事項記入 ○保護者との相談資料 ○HRT、科、進路指導部で使用
学力テスト ①旺文社テスト ②学研テスト ③校内学力テスト	進路相談カード(生徒用) ○カード形式 ○生徒が保管、学期1回HRTが集めてファイルしておく ○内容は教師用と共通な部分と生徒用独自のものがある	○自分でデータを記入することによって自己理解の手助けとなるようにする ○教師や保護者との相談内容等も記入しておく ○進路に関する自分の考えも記入 ○テスト結果は特に必要なものについては個人的に指導を加える
面接指導 ①HRT ②科の教師 ③進路指導係	調査結果は集計し、各項目ごとにファイルして、進路指導室に保管	○集計はプリントして各教師に配布 ○HRの話し合いの資料 ○HRのテーマとして取り上げる
各種調査 ①進路希望調査 ②不安、悩みの調査 ③進路選択の意識調査 ④職業観に関する調査 ⑤そ及調査	卒業生カード ○カード形式 ○キャビネット収納 ○会社内容と卒業生名簿	○在校生の進路相談資料(卒業生の状況) ○求人來校者の面接資料とする。また必要事項を記入 ○追指導の計画 ○追指導には持参する必要事項を記入
卒業生の資料 ①会社への調査依頼 ②求人來訪者へ依頼、変更、訂正を記入 ③追指導の情報	学校訪問者記録 綴じて、進路室に保管	○進路相談資料 求人票に載っていない資料 ○求人ファイルにはりつける方法を考慮中
会社からの來校者 ①求人來校者に会社内容の要点その他を記入 ②面接者が面接内容を記録	受験資料 ①受験者が受験報告書を提出 ②各会社から入社試験問題を送付	○生徒に自由に閲覧、利用度高い ○現在は年度ごとにファイルしてあるが会社ごとにするよう検討中
HRのための資料 ①最初はいくつかの展開案のモデルを作成 ②実践の中から指導例を提出してもらい改善しモデルを増す	HR展開案モデル 展開案と展開に必要な資料のリスト ○コピーできる用紙に記入 ○プラスチックケースに入れて整理しておく	○コピーして使う ○HRの関連性のあるテーマの展開の資料に使う ○実際のHR展開案はHR独自のものを作るのが本筋だと思うので、モデルの展開案はあくまで参考にする

れる。
 では、その原因となっている要素を調査から見ると……
 (三) 進路について不安を持つ原因は何ですか。
 「自分の適性が分らない」が各学年とも第一位で、何に自分は向いているかが理解できない生徒が約半数いる。次は「資料が不足している」で、特に一年生が多いという特色が見受けられる。第三位は「将来の見通しが無い」で、現在の社会情勢の一端がうかがわれる。

る。また、悩みが学歴とも関連している点も、もう一つの問題として考えさせられる。
 次に、このような原因をどのように解決しているかを見てみます。
 (四) 不安の解消をどのようにしていますか。
 「なにもしていない」が最も多いが、学年差が現れている。次いで「両親や兄弟と」「自分だけで」「友人と」の順で相談するとか、又は自力で解決を図っている。先生と相談する」が最低になっている。

ることに注意したい。
 (五) 進路について悩みを持つ原因は何ですか。
 「高卒だけの学歴では不十分ではないか」が第一位を占め、高学年に多く見られる。次いで「就職する場所が分からない」となっているが、これは特に二年生が多いが目立つ。その次は「進学か、就職か、どちらにするか迷っている」で、特に一年生が多い。三年生については、調査時期に問題点があった。

(六) 悩みを解決するためにどのようなことをしていますか。
 「これから考える」が最も多く特に一年生では、最高の三十六・五パーセントを占めている。次いで「両親兄弟と相談して」「自分だけで解決する」の順になっている。「なにもしていない」が各学年とも同じような比率になっていることは、一考を要する。
 以上のような調査から考察されることは、進路についての不安や悩みを持つ